

ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「私たちのマンガ史」は、東京都江東区・森下文化センターにて2016年10月21日（金）から30日（日）の会期で開催しました、新つれづれ草マンガ展「私たちのマンガ史」で展示した展示物を再構成したものです。

**私たちのマンガ史**  
マンガ家デビュー秘話

1970年代初頭、マンガ家になることを夢に見て、その夢に全力で向かっていったマンガ少年たちがいた！

マンガ家としてデビューしたのか？  
それとも、しなかったのか？  
パネル展示と当時の原画、掲載誌、資料等で今だから語れる、それぞれのマンガ史をご覧ください

手塚治虫の「マンガの描き方」  
石森章太郎の「マンガ家入門」  
雑誌COMの創刊、サンデー・マガジンの大ヒット  
少年ジャンプ創刊、手塚賞・赤塚賞新人賞へ投稿……

イラスト・KINKAN

入場：無料

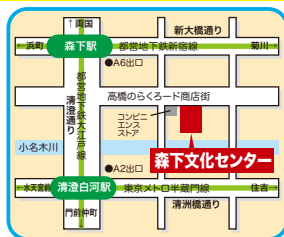
日時：10月21日（金）～10月30日（日）  
午前9時より午後9時まで（最終日は午後5時まで）

会場：森下文化センター1F展示ロビー

お問合せ：森下文化センター

〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17  
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677  
都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分  
都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分  
<http://www.kcf.or.jp/morishita/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター







■ 私たちのマンガ史

# おだ辰夫

デビュー作

『フクメンくん』

1969年「少年ジャンプ」

高校2年の夏休みに上京して、新宅さんのところに遊びに行きました。「つれづれ草」に参加するようになったのもその頃でしたね。新宅さんは梅本さちおさんのところでアシスタントをしていたので、連れていってもらったんです。実はそのとき、「少年ジャンプ」の新人賞に作品を応募していたんですよ。そのことを梅本さんに言ったら、編集部に連絡してくれてね。「こういう子が応募したっていうんだけど、どうなってる？」って。そしたら佳作に入っているというんです。まだ発表前なのにびっくりしちゃって(笑)。その佳作がデビュー作です。タイトルは『フクメンくん』。ギャグ漫画です。

それで「ジャンプ」と専属契約をしました。担当編集者がついて、毎月お金をくれました。2万円か3万円だったと記憶しているけど、特

に何本描かなければならないというノルマはなくてね。

文・新つれづれ草第6号掲載「つれづれインタビューマンガびと」より抜粋加筆

掲載作品は、デビュー作の「フクメンくん」です。



## 【フクメンくん制作ノート】

『フクメンくん』は、少年ジャンプ1969年第20号に掲載された、おだ辰夫のマンガ家デビュー15ページ読み切り作品です。

掲載号は、それまで月二回刊だった少年ジャンプが週刊になった記念すべき号でした。

これを描いた頃のボクは単なるマンガ好きの高校生です。まさか、その後もマンガ家として、世紀も変わった2017年現在も細々とながら現役マンガ家として活動しているなんて、夢にも思いませんでした。

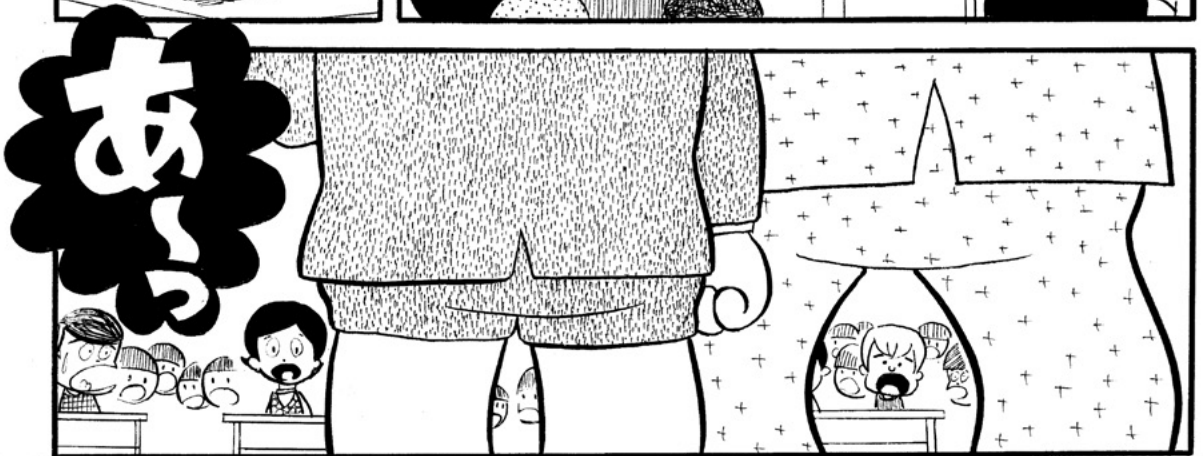
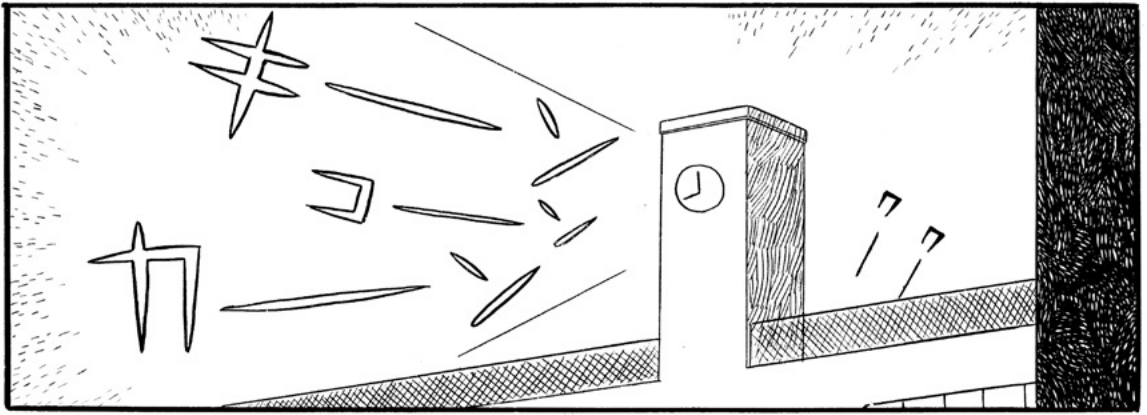
今回このマンガの原稿にあらためて目を通して感じたのは、ネームの読みにくさです。どうしてこんな改行をしているのか不明な箇所が多数ありますが、当時のボクはこれが最良と思っていたのでしょう。

フキダシの形も驚きです。こんな形状のフキダシを使っていた記憶は一切なかったのですが、実際に原稿があるんだから、これまた当時のボクはこんなのが気にいっていたのでしょう。

烏口でグイグイ引いた枠線にも注目しました。ていねいに塗られたベタにも目を奪われました。たぶん開明墨汁だと思われます。

肝心の内容ですが、ひとことで言うと他愛ないものです。これは現在の作風にもうけつがれているような気がします。でもその他愛なさの奥に、ちょっとした深読みで面白がることのできるポイントが埋め込まれています。しかし、それがなかなか読者に伝わらないというのも、デビュー作から現在まで変わっていない点といえるでしょう。

今回、新つれづれ草ネット配信版で『フクメンくん』が公開されることになり、作者としては恥ずかしいような嬉しいような複雑な気持ちです。面白いかどうかはともかくとして、1970年前後のマンガ少年の息吹きのようなものを感じていただけたら幸いです。 【文責：おだ辰夫】2017年春





いん

ぼく  
福面太郎  
です  
よろしく

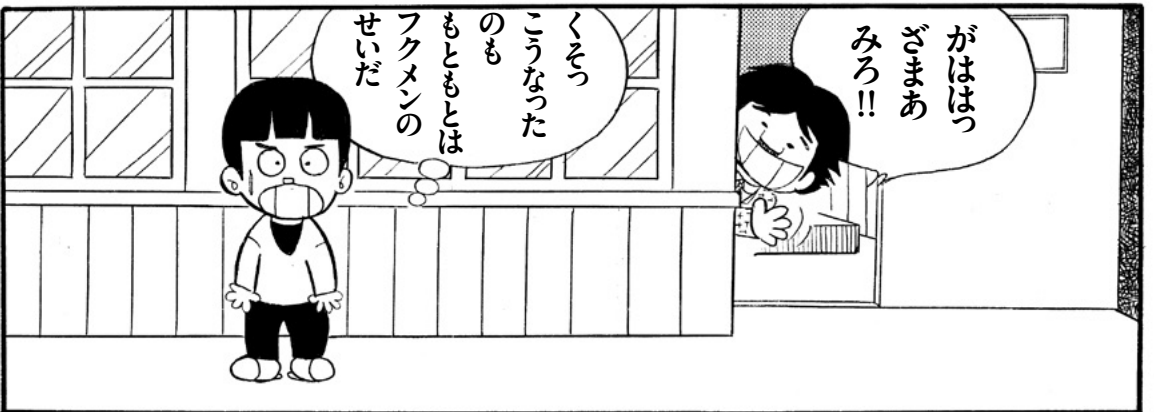
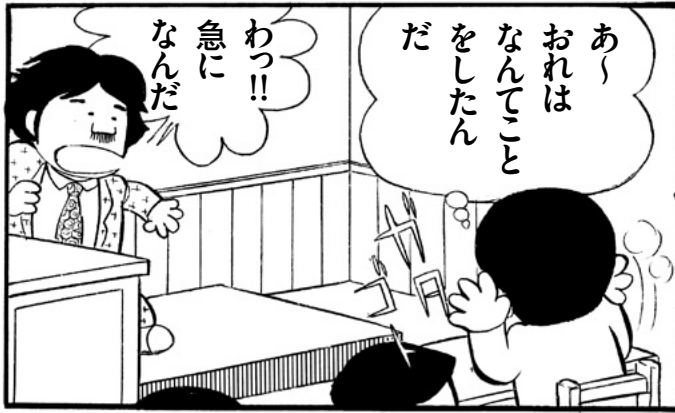
おだ辰夫







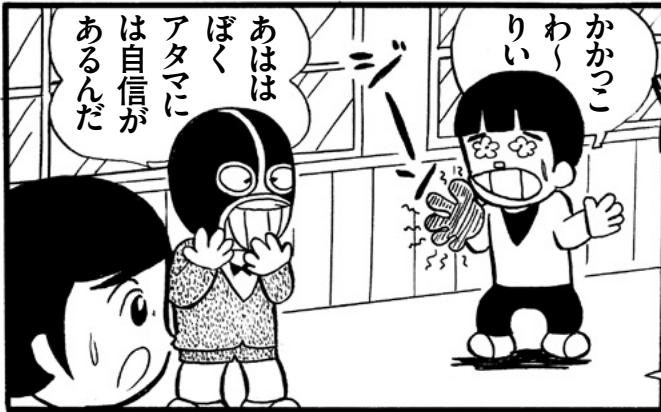
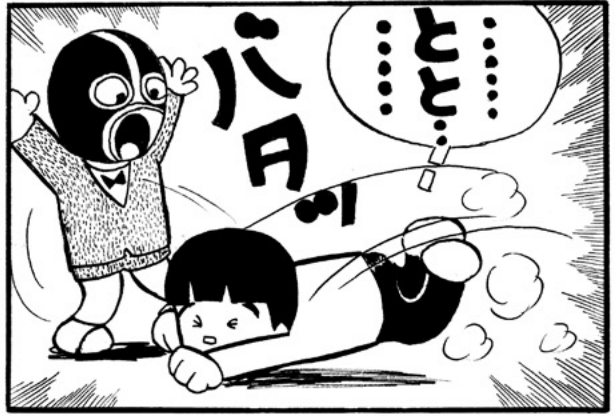


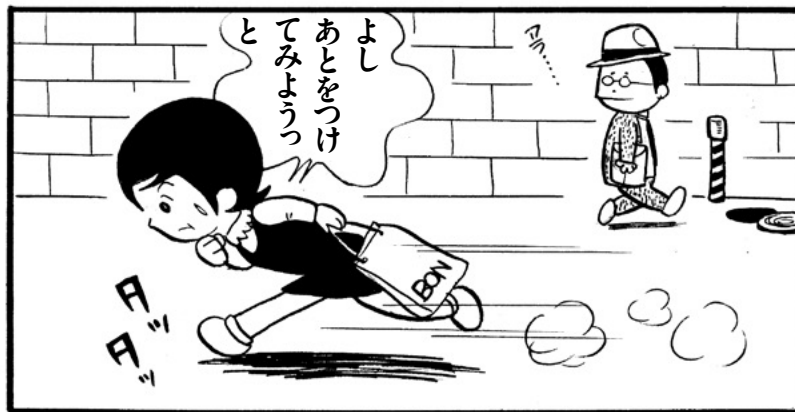




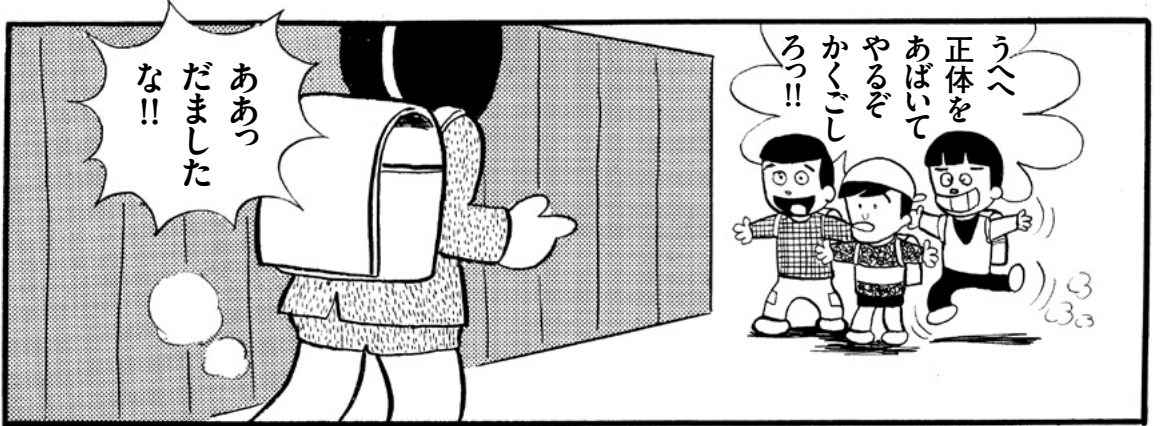


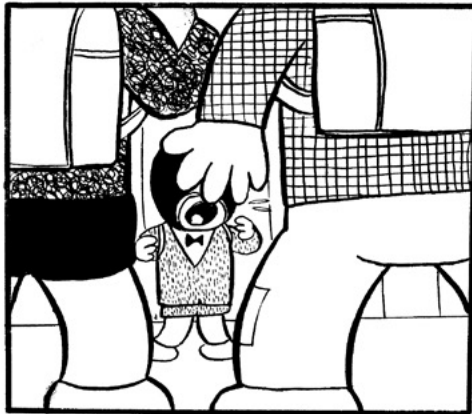




















ちえっ  
こんなこと  
なら  
フクメンとら  
なきゃよかったな

これだから  
フクメン  
とるのは  
いやだった  
んだ

わーっ  
かーっ  
こ  
いい!!

キャー  
ステキ

キャー

フクメン  
くん  
こっち  
むごー